

(様式⑦-1 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像	主体的に学び、夢に向かって努力し続ける子	堺市立 大浜中学校 校長 石田智子
-----------------	----------------------	----------------------

令和7年度 重点目標 「学力・体力・人間力の向上」「主体的に学ぶ生徒の育成」
---

確かな学びの現状 全職員がユニバーサルデザインを意識した授業の実践を根気強く継続し、生徒が学びに向かうための分かりやすい授業力向上の実践に取り組み、学習の基礎基本のしっかりした定着と、自己肯定感の醸成を図っていく。 「生徒指導・学力向上・特別支援教育」を3本柱とした学校経営を行い、学校力の向上をめざす。 今後も学校での取り組みを通して、達成感を体験させて自尊感情の醸成を図る。	豊かな心・健やかな体の現状 マナーや規範意識が低い生徒もあり、友達や教師に対して不適切な言葉遣いが見受けられることもある。「ことば」に対する意識をしっかりと持ち、自分の存在を大切にし、相手を思いやる気持ちや態度を醸成するためにも、道徳教育に力を入れる。また、正しい人権感覚を培うためにも教科指導を含め学校生活全般において人権教育に関連付けて指導していく。 それぞれの課題に対して目標を設定し到達することで自己肯定感を育む。自分を大切にすると同時に他者も大切にする心を育み、いじめや暴力を否定できる心の醸成を図る。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	学力	学習習慣の定着、反復練習、生徒個々に応じた指導などを通じて基礎学力の向上を図る	「めあて・振り返り」を示す。また、一人1台のPCを活用して学習に興味関心を持たせる	職員アンケート	実施状況	年度末	○	概ね順調			
			1年英語、2年数学における少人数指導（習熟度別・均等分割）を実施する	「PCを使っている」結果肯定率	教育自己診断		○				
	基礎基本の定着をベースに「深い学び」を目指す授業力の向上と改善	年間を通して、朝学習を実施し、授業では基礎学力の定着を図る	「少人数指導はわかる」の結果肯定率前年度比	教育自己診断	年度末	○	概ね順調				
		●★「考える、自分の考えを書く、発表する、話し合う」をキーワードにして授業改善に取り組む	チャレンジテスト度数分布3割未満の生徒数20％以下	チャレンジテスト	年度末	実施					
		道徳授業の授業方法・評価についての研修実施	「自分の考えを書いたり発表する」のアンケート結果肯定率前年度比	堺市児童・生徒学習生活状況調査	年度末	実施	実施後年度末にて確認します。				
豊かな心・健やかな体	豊かな心	心豊かな「居場所と出番」のある学校	各学年の取り組みを通して、生徒が達成感を持ち、自分に自信が持てるようにする	職員アンケート	実施状況	年度末	実施	概ね順調			
			「ホッと空間」を継続し、自主学習の場や憩いの場として活用する	「自分によいところがある」アンケート結果肯定率前年度比	堺市児童・生徒学習生活状況調査	年度末	○				
			図書館開館の回数を増やし、来館者を増加させて本に接する機会をふやす	休み時間、昼休み、放課後、テスト前などの生徒の活用状況	観察	通年	○				
	体	生徒の学習・生活習慣の定着	朝の遅刻、チャイム着席に対する意識を高める	図書館来館者数前年度比	図書館サポーター	年度末	○	概ね順調			
			「7つのやくそく」の特に「早寝、早起き、朝ご飯」について生徒保護者に啓発する	「学習への集中」アンケート結果肯定率前年度比	活動報告		△				
開かれた学校	地域連携	家庭・地域への積極的な情報発信および中学校区として9年間を見通した児童生徒の育成	学校だより・学年だより・PTA広報・HP・オプンスクール等を通して積極的に情報発信	「寝る時間」「朝ごはん」アンケート結果肯定率前年度比	堺市児童・生徒学習生活状況調査	年度末	○	概ね順調			
			小中連携（共通の課題や目標・相互授業参観・合同研修）	定期的な発行、実施、更新。「学校の様子を知ることができる」の項目	堺市児童・生徒学習生活状況調査	年度末	○				

校長より(年度末)		学校関係者評価者から(年度末)
-----------	--	-----------------